

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	鳥取県	事業実施主体	鳥取県・南部町	地域再生計画名	南部町まちづくり計画「豊かな森林資源を生かした山村振興」
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	鳥取県西部総合事務所 日野振興センター 日野振興局 農林業振興課長 若松 理恵・南部町 建設課長 岡田 光政		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H27	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	森林施業面積の増加	102ha	H27	108ha	H30	121ha	112ha	R2	114ha	○	3	3	最終目標値112haに対して、約2.0%増の114haの実績（H27～R2）となり、最終目標値は達成できた。
	指標2	素材生産量の増加	9,200m3	H27	9,700m3	H30	5,420m3	10,100m3	R2	13,640m3	○	3	3	最終目標値10,100m3に対して、約35.0%増の13,640m3の実績（H27～R3）となり、最終目標値は達成できた。
	指標3	所要時間の短縮	14分	H27	14分	H30	14分	10分	R2	10分	○			最終目標値10分の達成はできた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度 (R1)	最終実績									
	町道整備事業（整備延長）		1,100m	940m	980m	計画変更で整備延長を落としたため、当初計画に対し、整備延長から見た整備率は約89%となった。								
	林道整備事業（整備延長）		2,500m	1,140m	2,310m	概ね計画どおりに林道の開設を進めることができた。これにより、搬出間伐を中心とした森林施業の拡大が見込まれる。								
その他の事業	森林整備のための地域活動支援事業		森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対する支援や森林施業の実施の基盤となる既存の作業路網の改良を行う活動に対して支援を行う。			国土の保全、水源のかん養等森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施業の集約化に必要な森林情報の収集および境界確認等の諸活動に対する支援を行った。								
	森林環境保全整備事業		面的にまとめて計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			林業生産活動等が継続的に実施される仕組みを作り上げることを目指し、森林経営計画の認定を受けた方等に造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業の支援を行った。								
	間伐材搬出等事業		間伐材を市場等へ出荷又は販売した経費の助成を行う。			適正な森林の保全・整備、木材の有効利用を図るため、間伐材の搬出に対する支援を行った。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	鳥取県森林審議会において、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う予定。													
⑤事後評価の公表方法	鳥取県及び南部町建設課のホームページに掲載予定。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用して町道整備と林道整備を一体的に実施し、森林区域と林業施設間のアクセスを改善することで、本区域内の豊富な森林資源を計画的に管理することが容易となり、伐採から搬出までの作業の効率化や搬出経費の削減が期待される。また、アクセス道の整備を行うことで、林業従事者の就業環境の改善に繋がった。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画により、林道及び町道の整備が円滑に進み、森林施業面積の増加等の目標も達成できた。路網の整備に合わせて、森林整備地域活動支援事業、森林環境保全事業、間伐材搬出等事業（県単独）を総合的に行うことにより、豊かな森林資源が持続的に有効活用した森林整備を推進していく。													